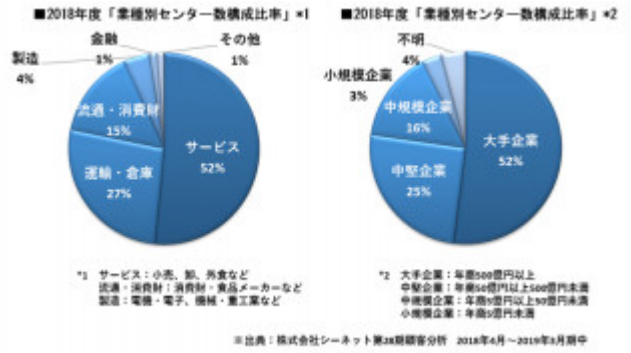
シーネット、2018年度システム稼動実績数610センターにセンター数調査集計結果を発表



ci.Himalayas（シーアイ・ヒマラヤ）のブランドでクラウド型倉庫管理システム（以下WMS）の提供を行う株式会社シーネット（以下シーネット、本社：千葉県船橋市、代表取締役社長：西村正哉）は、2018年度の期中システム稼動実績センター数調査結果を発表いたしました。この結果、2018年度は600センターを突破し、610センターでの稼動となりました。
前年からの伸び率は、業種ではサービス業、規模では大手・中堅企業が高く、原点回帰の形となりました。
本年度も引き続き大手・中堅企業向けの物流システムサービスインテグレーション提供に注力するとともに、中・小規模企業向けの効率的パッケージ提供にも注力していく計画です。

【2018年度 シーネット システム稼動実績センター数】
https://www.cross-docking.com/news/20190711/?nr

以上

□□□

□□□